

「単独荷卸しに係る運行管理者研修会」の開催状況について

事故防止調査研修センター

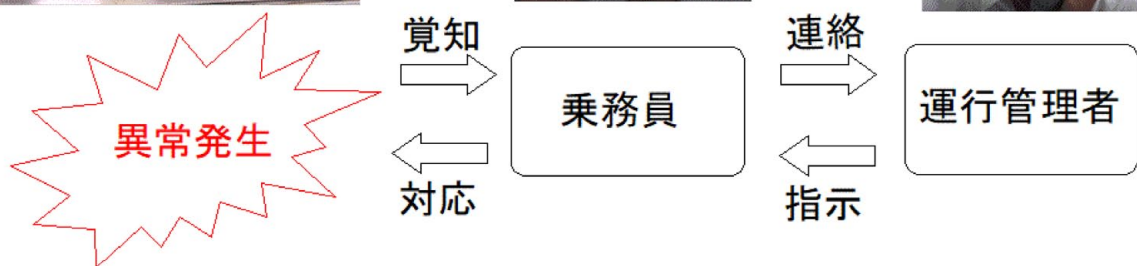
協会では、単独荷卸しの作業、運行管理に係る教育担当者等を対象として、単独荷卸しに係る危険物関係法令、単独荷卸しの仕組み、単独荷卸しの作業に係る留意点、異常及び災害発生時の対応等に関する知識の習得を目的とした「単独荷卸しに係る運行管理者研修会（以下「研修会」といいます。）」を平成29年度から開催しております。

研修会では、座学の他に実務的な内容を習得していただくための演習を組み入れております。従前の演習は、単独荷卸しに関する過去の事故事例を元に制作したビデオ映像を視聴していただき、問題点を抽出し、更に受講者が運行管理者であった場合にどのような対応をするかについて記述していただいた内容に基づいて講師が講評を行うという内容でした。

一方で、過去の事故事例については、単独荷卸しの仕組みに関する評価業務において改善が図られており、事故の発生要因となった「解除カード」や「予備の油種キー」などについては運送業者の車庫等において厳重に管理されるようになったことから、演習の素材として適さなくなってきました。

このようなことから、演習内容を見直し、単独荷卸し時に発生が予想される異常について、受講者の方が運行管理者であった場合にどのような対応をするかについて記述していただき、記述内容に基づいて講師が講評を行うという演習内容に変更し、令和3年度から実施しております。

演習の流れは、異常発生を覚知した乗務員が、運行管理者に異常発生状況を連絡するまでをビデオで視聴していただき、運行管理者として異常に対してどのように対応するかについて記述していただくというものです。



その後、対応の例をビデオ映像でご覧いただき、講師による補足説明、受講者の方が記述された対応等についての講評を行います。

併せて、最近の事故事例についての解説も行っております。

運行管理者は、異常発生連絡を受けた際に一人で対応しなければならないことが多く、多くの受講者の方が一人で考えることができよかったですというご意見をいただきました。

以下にアンケートに記述されていたご意見の一部を示します。

- ・ 事故を実際対応した事がなかったのも勉強になりました。
- ・ 私の業務と、乗務員、SSとの関係、そして供給者との関係の流れと約束（守るべき）とが理解できました。
- ・ 事例を基に説明いただき今後の業務に役立ちます。
- ・ もっとハイテク機器について勉強しないと乗務員に適切な指示が出せない事を痛感しました。
- ・ 実務経験が浅いので、解答説明は非常に参考になりました。
- ・ 各社システムが違い、対応の異なる点も有る事がわかった。
- ・ 最新の事故事例も紹介して頂いて今後の対策に大変役立ちます。実際の事例に対する説明も大変分かり易かったです。
- ・ 実際にも起こり得る事で訓練になりました。
- ・ 実際に事務所で経験した内容でしたので身近に感じて記入できました。
- ・ 他のパターンもやってみたいと思いました。乗務員研修会にも使用できるかもしれません。参考にさせていただきます。
- ・ 事故事例がとても難しかったです。しかし、それ故、非常に対応を考えさせられました。最善の方法を迅速に考える必要性を勉強させられました。
- ・ モデルケースで自分の考えをアウトプットできたので、実際にトラブルが発生したときの参考になった。
- ・ 異常事例対応演習については、正しい判断、行動を行うためにも、特に勉強となりました。
- ・ 今後、自分が同じ状況になった場合の想定をすることができ、大変役に立った。
- ・ 実際に起こりうる事例だと思うので、今後の対応に役立ちました。
- ・ 内容については分かりやすく、実際トラブルが発生した時の対応も勉強になりました。
- ・ 実際に現場で起こりうる事態ですが、いざその状態になった時に適切な判断をすることがここまで難しいとは思わなかった。
- ・ グループ討議より良かった。（自分の意見、考えることができる。）
- ・ 実際にあり得る事例で模範解答もあり勉強になった。特に絶対にやってはいけないことが参考になった。
- ・ 対応例のようにいつでも対応できるように準備しておきたい。
- ・ 対処演習は、会社ではなかなか教えてもらえないので勉強になりました。
- ・ 異常時の管理者の対応はとても重要であることがとてもよく理解できた。

演習については、今後も題材を変えて受講される方々の実務にますます役立つ内容としてまいります。